

令和8年度 熊本県立大学 環境共生学部 環境共生学科 居住環境学専攻
学校推薦型選抜 小論文 出題意図

〔出題意図〕

問Ⅰ 高齢化が進む日本社会の現状を踏まえ、介護をめぐる制度・施設・人材・地域社会・テクノロジーなどを多面的に捉え、将来の介護環境を主体的に構想する力を意図した。

問Ⅱ 公園という身近な居住環境に対する観察力, 創造力, 論理力等を測ることを意図した。

〔解答指針〕

問Ⅰ 介護の現況と課題をどの程度理解しているかを踏まえつつ、制度や地域、技術など複数の観点に関連づけながら、自分の考える理想的な介護環境を論理的かつ創造的に述べているかを確認する。一貫した主張と具体性のある構想が示されている点を評価する。

問Ⅱ 身近な居住環境である公園の現況と課題に対しどのように観察し理解しているか、そして、これらを自分のアイデアや発想とどのようにクリエイティブかつ論理的に結び付けられるかを評価する。